

■非常用持出品の準備

すぐに持ち出せる場所に備えておきましょう。

家族みんなでチェックしましょう！

☐ 3 日分の水	☐ 3 日分の食料	☐ 現金	☐ 通帳、印鑑
			
☐ 緊急医薬品	☐ 懐中電灯	☐ 雨具 ヘルメット	☐ 下着・上着 などの衣料
			
☐ タオル、手袋	☐ ティッシュ など	☐ 携帯ラジオ	☐ 免許証などの コピー
			
☐ 石けん シャンプー	☐ 固形燃料 缶切り	☐ 予備の眼鏡 コンタクトレンズ	☐ マッチ ライター
			

地震の被害を少しでも少なくするためには、一人一人が十分な備えをすることが大変重要です。

住宅の耐震化、家具の固定、食料・水などの非常用持出品の準備、避難場所の確認など、家庭でできる対策をしっかりとっておきましょう。

明治24年10月28日に起きた濃尾大震災にちなんで、毎年10月28日を「岐阜県地震防災の日」、毎月28日を「岐阜県防災点検の日」としています。

ぜひ、この機会に災害に備える準備や点検を実施しましょう。

家族・自分自身で備える！

■災害伝言ダイヤル

災害時には家庭の電話も携帯電話も不通となってしまう。そんなときには災害用伝言ダイヤルを活用し安否を知らせましょう。

NTT西日本災害伝言ダイヤル171

災害用伝言ダイヤル171は被災地の人が録音した安否情報などを、家族や被災地以外の人などが再生することができる特別な電話回線です。

録音方法

171を押す

録音するときは**1**

自宅の電話番号を
市外局番から押す

0574-00-0000

再生方法

171を押す

再生するときは**2**

連絡を取りたい人の電話
番号を市外局番から押す

0574-00-0000

ガイダンスが流れる

ピツという音の後30秒以内に話す | 録音された内容が流れる

電話を切る

※流れるガイダンスに従ってご利用ください。

安否情報の取り次ぎをしてもらえる親せき、友人など（遠方に住んでいる人）を決めておきましょう。

東海地震とは

東海地震は、静岡県西部・駿河湾一体を震源とし、マグニチュード8クラスの巨大地震と想定されています。

100年から150年周期で繰り返し起き、最後に起きたのが、1854年です。東海地震だけが、150年たってもまだ起きていません。ほかの南海、東南海地震も起きる可能性があり、一つの地震によって別の地震までもが連鎖して起きる危険性があるかもしれません。

当市での予想される地震の震度は、いずれも5弱から5強といわれています。

■家の安全対策・耐震対策

阪神・淡路大震災では、犠牲者の8割以上が建物の倒壊や家具の転倒による圧死が原因で亡くなっています。特に、昭和56年以前に建てられた住宅については、約64%が大きな被害を受けています。

まずは、住宅の耐震化を図り、家の家具は、留め金などで固定しておきましょう。また、ブロック塀なども点検し安全な塀に改善するなど、倒壊による圧死を防ぎましょう。

市では、住宅の耐震化やブロック塀について補助制度を設けていますので、ご利用ください。